

こんにちは

第177号

2024年(令和6年)

2月1日発行

須坂市議会です

発行 ● 長野県須坂市議会

発行責任者 ● 議長 浅井 洋子

編集 ● 市議会広報特別委員会

令和6年 能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます



1月7日(日)に举行された須坂市消防出初式 (メセナホール北側駐車場)

12月
定例会

11月21日～
12月12日

議案審議	P 2
委員会・分科会(補正予算)	P 3・4
一般質問	P 5～18
議決結果	P 19
広域連合・行政視察等報告	P 20・21
議員研修・教えて!議会のこと	P 22・23
私たちの声・3月定例会日程(予定)	P 24

3月定例会は2月20日(火)開会の予定です

市長の不信任決議案 賛成少数で否決

12月
定例会



最終日の本会議では、宮本泰也議員ほか1名から市長への不信任決議案が提出された。

任期満了に伴う市長選を巡り、三木市長が議長、一部議員等に引退の意向を伝えてから3日後に出馬を表明するに至った経緯等に問題があり、方針転換は「議長に大変失礼であるとともに、市民への裏切り行為であり到底許されない」との理由を説明した。

その後、決議案に賛成、反対の立場で討論があり、採決の結果賛成少数で否決した。（議員20人のうち退席者6人を除く14人で無記名投票し、賛成3人、反対10人、無効1人）

定例会では、23年度補正予算案9件、条例案など13件について審議し、全て原案のとおり可決した。また意見書1件を可決し、決議1件を否決した。

討論

市長不信任案に

賛成

岩田 修二

今回の市長選挙をめぐる三木市長の数々の言動には、ごく少数の議員ばかりでなく、多くの関係者が振り回されている。結果的には様々な関係者の信頼関係を著しく損ねたと、だれもが思っている。

NHKのアンケートに答えた「一部市議会議員の視野の狭さ、理念の低さが課題」と言う考えは、議会や議員を何とも思っていないことと表れて、このような思いあがった姿勢を許すわけにはいかない。

反対

石合 敬

市長が次の選挙に出るか否かは個人の自由。なぜ議長や数人の議員が執拗に問う必要があるのか。市長を下ろして自分が出たかったのか。選挙に出なければ出れば良いだけ。市長室という密室でのやり取りが良いのかも疑問。今回の議長たちの行動に市民意向は全くない。関知していない議員にとっては迷惑でしかない。これは議会で問う問題ではない。よって決議案に反対する。

陳情・意見書

● 日本政府が「日本国憲法の理念」を生かし、イスラエルの地上侵攻と空爆の即時停止と平和的解決に全力を尽くすことを求める陳情

陳情者

須高平和委員会

事務局担当 永井光明

ほか1名

採決結果

趣旨了承（総務文教委員会）

《議員提出》

● パレスチナ自治区ガザ地区における紛争の平和的解決に全力を尽くすことを求める意見書

採決結果

可決

要旨

日本政府においては国際社会の先頭に立ち、次の事項について強く働きかけるとともに、紛争の平和的解決に全力を尽くすことを求める。

- 1 イスラエルの空爆と地上侵攻の即時停止
- 2 ハマスが拘束している人質全員の即時解放
- 3 ガザ地区における人道支援物資の供給

★ 可決となった意見書は国会や関係機関へ提出しました。

福祉環境

文化事業振興団が 指定管理者を継続

委員長 荒井一彦
副委員長 浅野隆義
委員 野崎泰天、宮内剛勉、竹田剛勉

須坂市美術館等文化施設の指定管理者の指定

Q 須坂アートパーク内にイベント広場が整備されたことに伴い、指定管理者の人的配置や指定管理料はどうなるのか。

A イベント広場はアートパークと一体で活用するため、世界の民俗人形博物館及び版画美術館の職員が一括で管理する。新たにトイレも整備され、光熱水費や管理費用の増加が見込まれ、指定管理料の増額も検討する。

《全会一致で可決》

須坂市公民館条例及び臥竜山公会堂条例改正

Q 使用時間の区分の変更に伴い、料金は変わるのか。

A 現行の使用区分で1時間当たりの料金を計算した場合に、一番安い料金となるように

設定したため、使用料の増額はない。

Q 施行日が複数に分かれている理由は。

A 須坂市民ギャラリー・臥竜公園を南部地域公民館の施設から臥竜山公会堂の施設に変更する改正と、使用時間の区分を改める内容は早期に実施したいため公布の日から施行する。使用者が営利目的の場合や市外の者が使用する場合は使用料を増徴する改正は、現在の使用料よりも増額となる者がでることから、周知期間を設けたいため、3月1日から施行する。

《全会一致で可決》



須坂市民ギャラリー・臥竜公園を
現地調査

経済建設

温泉スタンド及び マレットゴルフ場の 廃止

委員長 酒井和裕
副委員長 西脇隆
委員 堀内義章、中島敬一、石合

Q 温泉スタンドの一般利用は少なく、施設が老朽化しているため廃止し、他の施設で利用する場合のみ供給するとの説明だが、その影響は。

A 一般利用はできなくなるが、現在も温泉を供給している他の施設に対しては、引き続き供給するため、影響はない。

Q マレットゴルフ場を廃止し、デイキャンプやイベント等自由使用できるようにするとのことだが、草刈り等の管理は必要になる。新たな費用負担をせず、指定管理者に行ってもらうということか。

A 新たな費用負担はせず、指定管理者において、引き続き管理してもらう。

《全会一致で可決》

峰の原高原クロスカントリーコースの指定管理者の指定

Q 今年度の利用者数は1万8500人との説明があったが、利益など運営状況は。

A 利用者は、コロナ以前の状況に戻ってきている。しかし、芝に散布する肥料など管理経費がかさみ苦しい状況と聞いているが、現状では、指定管理委託料の中で運営をお願いしている。

《全会一致で可決》



温泉スタンドを現地調査

総務文教

健康保険証の廃止に 対応するための条例 改正

委員長 牧重信
副委員長 山崎永一
委員 早川航紀、岡田克彦、久保田修二、岡田修二、岩水

Q 健康保険証の原則廃止に伴う改正とのことだが、今後、マイナンバーカードを持たず資格確認書しか持っていない方は、福祉医療を利用する際に不利益はないか。

A この改正により、本人の了解を得た上で健康保険の資格情報を確認できるようにするので、不利益はない。

《全会一致で可決》

特別職の職員等の給与に関する条例改正

Q 消防団に新たに女性部が設置されるとのことだが、部長の任期や職務は。

A 任期は2年。女性消防団員が活躍できる場を整え、女性や若者の入団の促進を図る方針だが、具体的な活動内容は国のモデル事業の活用も視野に入れ、来年度以降整えていきたい。

《全会一致で可決》

国民健康保険条例の一部改正

Q 出産をする被保険者について、産前産後期間の保険料の免除措置が新設されるとのことだが、免除額に対する国・県の交付金はあるのか。

A 国が2分の1、市と県でそれぞれ4分の1ずつを負担する。

Q 申請した人のみが対象となるのか。

A 遡っての申請も可能。状況を調査し、申請漏れの場合は申請を促す。

《全会一致で可決》



補正予算に関する審査

産業振興・観光

地域ポイントアプリ導入の再検討

△244万円

Q 今年度の導入を直し、ゼロから再構築されとのことだが、既にアプリは作られており、運用せずともラニングコストがかかるのでは。

A 一度消去すると再設定の際にかなりの金額がかかるため残しはするが、使用料の減額は業者に依頼し年間26万円ほどになる予定。

産業アドバイザー報酬

△144万円

Q 1名が退職とのことだが、後任は決まっているか。また退職による影響は。

A 昨年度、県外への販路開拓とPRで1名増員したが、他のアドバイザーが体調を崩し退職となった。現在では従来どおり4名体制で、産業コーディネーター

の報酬、日数等も調整し、対応しており、大勢に影響はない。

峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金

△3110万円

Q 減額しているが、実施予定だった事業は何か。

A 主にスキー場の整備であり、辺地債が減額となったため、その範囲でできる事業で優先順位を決めたい。今回はレストランのトイレを洋式にする予定であった。

イヌワシ獣舎の事業費

△1540万円

Q 建設を来年度に見送ることだが、事業の見込額は。

A 3800万円ほど。今年の予定価格より2倍以上に増えている。仕様がかわるならわかるが、見積りが甘か



須坂市動物園のイヌワシ

ったのではないかと。鳥インフルエンザ対策を実施するため、仕様も変更となる。見積りが甘かったところもある。

福祉・健康・生涯学習

支援費サービス事業

1億1839万円

Q 増額補正の要因は。

A 児童のサービスでは、発達特性の早期発見や、近年の共働き世帯増加により児童通所サービスの利用者が増加し、成人のサービスでは、グループホームや通所サービスの利用者が増加しているため。

高齢者福祉施設整備事業

197万円

福祉医療費給付金事業

3670万円

Q 増額補正の要因は。

A 6月から8月にかけてヘルパンギーナやRSウイルスが乳幼児等で流

補助金の内訳は。

A 小規模多機能居宅介護事業所の施設整備分300万円、小規模多機能型居宅介護事業所の開設準備分45万円などで、県の補助単価改定により増額となる。

臥竜山公会堂管理事業

293万円

Q 机、椅子等の使用方は。

A 和室にカーペットを敷き、その上に配置して使用する。



臥竜山公会堂を現地調査

行し医療費の支給が増加したため。

教育・子育て・職員人件費

学校給食費、児童生徒1人あたり4万円分を公費負担

Q どのような方法で実施するのか。

A 国の交付金を活用し、準備が整い次第給食費の還付を行う。徴収は止めずに通常どおりすすめる。

私立保育所・幼稚園等の運営費負担金

1億3896万円

Q 保育士の処遇改善による増額補正のことだが、保育士の給与が上がるということなのか。

A 人件費、事業費に充てるための公定価格改定に伴う増額。

職員人件費

4845万円

Q 正規職員は4月まで遡って支給されるが、会計年度任用

処遇改善のためであるが、具体的にそのうちどれくらいが給与に反映するかはわからない。

職員については反映されていない。生活実態等を考慮し、同等の対応をすべきでは。

A 来年度となるが、給料表や勤勉手当など待遇改善を進めていく。

予算決算特別委員会で決定した要望事項で給与の改定については、非正規職員も正規職員同様の遡及改定とすべきである。

《全会一致》

※千円単位 四捨五入



文芸協のご協力により議場が華やかに

一般質問

ズバリ!
市政を問う

本定例会では、11月28日から12月1日までの4日間、13人の議員が質問しました。掲載は質問順としています。

一般質問全項目

宮本 泰也 P6

- 三木正夫市長の6選への対応
- 区役員等と共創のまちづくり

荒井 敏 P7

- 臥竜公園周辺の問題点と展望
- 教職員不足を解消するには
- 熊対策

岡田 宗之 P8

- 人材の活用
- 有害鳥獣対策
- 感染症対策

浅野 隆義 P9

- 民生児童委員
- 未来を創造する学習

早川 航紀 P10

- デジタル化によるDX推進
- 情報発信体制
- 臥竜公園と百々川緑地、アートパークなどの活用

酒井 和裕 P11

- 教育行政問題
- 地域公共交通

野崎 天馬 P12

- 須坂市のスポーツイベント
- 中学生の部活動

水越 正和 P13

- 草刈機による除草作業中、石はねによる車両損傷事故が頻発した件
- 不便な歩道の改修はどの程度考えているのか

岩田 修二 P14

- 立地適正化計画
- 人事行政
- 新年度予算編成に向けた基本方針

竹内 勉 P15

- 第9期介護保険制度、介護保険料引き下げとサービス向上を
- 聴覚障害・難聴者支援の拡充で社会参加の後押しを

山崎 永一 P16

- 米子大瀑布の今後の活用
- 重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）

久保田 克彦 P17

- 国民健康保険税の負担軽減で、命と暮らしを守る市政を
- 子どもたちを中心に保護者・教職員・地域の共同の力でゆとりと希望の学校を

石合 敬 P18

- 須坂市の美術・芸術振興施策
- 須坂市所有の美術品の活用・修復状況

※6～18ページの二次元コードで一般質問の録画映像が視聴できます。

一般質問



宮本 泰也 議員

議長を巻き込んだ三木市長の6選出馬経過は市民への裏切り行為!?



三木市長の6選への対応



区役員等と共創のまちづくり

市長選に関する懇談の経緯は事実か

答えは控える

問 9月22日に市応接室で中島元議長等との懇談で市長が「私はもう出ないから誰か候補者いませんか」との発言が出発点で、副市長の人事案件も出たとの話は事実か。

市長 中島議員とお話ししたことは、極めてプライベートなことなので、答えは控える。

問 11月14日に市応接室で、浅井議長、中島元議長と副市長も同席の中で、出ないと約束したことを聞いている。**市長** 全く先ほどの答弁と同じ。

問 現職の議長を巻き込んで、浅井議長に電話して「私が出ます」こういうことをやっていいのか。結果的に見れば、市長は初めから出るつもりで先送りしていたとしか思えない。

市長 臆測に基づく質問は差し控えていただきたい。この場では、話せないこともある。

問 信毎の記事に書いてあることだ。議長は二元代表制のトップであり、市民への裏切りだ。そこまでして、市長になりたいのか。信頼できない。

市長 ここでは話せない。

問 11月18日付信毎の記事の見解と、ここまで引き延ばした理由は、引き延ばしたわけではない。前回同様の時期だ。私が立候補しないことを話した方は、後援会幹部は1人、議員はごくごく少数の2人だけ。出馬理由は、市民、若手グループ、経営者などからの出馬要請。経験と国県等の人的ネットワークを生かすべきこと。高校再編だ。

市長 11月18日付信毎の記事の見解と、ここまで引き延ばした理由は、引き延ばしたわけではない。前回同様の時期だ。私が立候補しないことを話した方は、後援会幹部は1人、議員はごくごく少数の2人だけ。出馬理由は、市民、若手グループ、経営者などからの出馬要請。経験と国県等の人的ネットワークを生かすべきこと。高校再編だ。

区役員等のなり手不足

問 共同募金なども負担となっている。組織の在り方と、市から区への業務の見直しの考えは。

市民環境部長 これまでも区長会と市長の意見交換会などで、区の負担軽減を進めてきたが、一層の負担軽減に取り組む。募金方法も多様になっている。方法についても研究していく。

問 コロナの第5類化に伴い、イベントが行われ、市等からの配布物が増えている。区業務の見直しの考えは。

市民環境部長 公式LINEの機能を拡充し、市からの配布物が閲覧できるリンク表示や市



望まれる区負担の軽減化(区長等へ送付する配布物の棚)

ホームページでわかりやすい画面表示に見直し、配布物削減に努める。

竜ヶ池の防水シートを自然な色に 劣化の状況で検討し貼り換える

臥竜公園周辺の問題

問 臥竜公園の営業店舗のうち、ボート小屋前の3店舗は桜の時期だけしか営業していない。ボートも5月の連休から11月6日まで土日しか営業していない。寂れた観光地のように見えるので、もっと店を開くよう強く申し入れることはできないか。

まちづくり推進部長

臥竜公園商店会の皆様との懇談会で、閑散期の営業について強くお願いしていく。ボートは、現状のとおり営業していく。

問 動物園の獣医師が会計年度任用職員で雇用されているが、獣医の資格のある方が、非正規職員ではおかしい。

正規職員で雇用すべきだ。

副市長 獣医師の正規化についてはしっかり検討していく。

問 百々川緑地に距離

標を付けないか。

まちづくり推進部長

検討する。

問 百々川緑地は散歩やウォーキングする方が多い。トイレは上流



竜ヶ池の青いシートを自然な色に貼り換えを

部には勤労青少年体育センター横、県民運動場横、動物園南園角、野球場と4カ所もあるが、その下流部約1300mには全くない。メセナホールの河川敷駐車場入り口の屋部町育成広場辺りに、トイレの設置を希望する。

まちづくり推進部長

メセナホールのトイレが利用できるので設置は考えていない。

意見 散歩やウォーキングは早朝からやっているが、メセナは朝から開いてはいない。常設の屋外トイレがあれば文句は言わない。

教職員不足の解消

問 病欠や産休等の補充教員不足。育休退園問題や3歳未満児保育の増加で、教師や保育

士不足の根本的解決はあるのか。

熊対策

問 熊による農産物への被害が発生している。全国で熊被害が多発しているが、九州では熊が絶滅しているの被害がない。

生態系への影響もあり、熊の頭数大幅削減も研究していかなくてはならない。

産業振興部長 ツキノ

ワグマは絶滅危惧種となっており、熊の駆除は県の許可が必要である。頭数の大幅削減については、現場の意見として県に繋げていく。

荒井 敏 議員

大笹街道と谷街道の交差点を中心に、重伝建に選定されそうです。素晴らしい町並みに



臥竜公園周辺の
問題点と展望



教職員不足の解消



熊対策

一般質問



岡田 宗之 議員

ガザ地区紛争の平和解決を求める意見書を採択しました。一刻も早い停戦を望みます！



人材の活用



有害鳥獣対策



感染症対策

本年度開始の公務員定年延長は

役職定年により課長補佐級で配置

人材の活用について

問 少子高齢化が進み人手不足の問題や定年年齢の引上げにより、働く環境が変化してきているが、須高広域シルバー人材センターの運営現状は。

副市長 会員の減少や高齢化が進み、依頼をお断りするケースもある。今後は積極的な情報発信による入会促進や魅力ある新たな職域の開拓を進めていく。

問 須坂創成高校は即戦力として期待される総合技術高校だが、状況と課題は何か。



須高広域シルバー人材センターによる除草作業

副市長 卒業後の進路は22年度卒業生では、進学が175人で就職が80人であり、就職先については須高管内への就職は26人。

課題は地域の様々な魅力を生徒に実感させるために創造工学科のデュアルシステムのよう、他の学科も地域と生徒の学びを結びつけるコーディネートター役を担う人がいると助かるとのこと。

問 外国人雇用についての見解は。

副市長 外国人労働者が企業にとって貴重な労働力になっているだ

けでなく、その家族を含め地域社会の担い手となるとともに、近年の須坂市における社会増の一因となっている。

問 公務員の定年延長で期待されることは。

副市長 知識・技術・経験など次世代への伝承。そして業務改善や職員のフォローやサポートが期待される。

有害鳥獣対策について

問 熊の出没状況は。

産業振興部長 目撃情報件数は42件で昨年の23件と比べ増加しているが、人的被害の報告はない。

問 有害鳥獣の被害や駆除の状況は。

産業振興部長 電気柵は計画の94%の53km設置できた。設置開始の

04年の農作物被害総額は1929万円だったが、22年には141万円と激減している。

感染症対策について

問 新型コロナウイルス「令和5年秋開始接種」の接種率は。

健康福祉部長 11月26日時点で12歳以上の全体で20・2%。そのうち65歳以上は44・9%。

問 インフルエンザの対策は。

健康福祉部長 感染症情報を幼稚園や保育園・小中学校へ周知するとともに、ホームページへの掲載やSNSを活用して、引き続き注意喚起をしていく。

民生児童委員のなり手不足は

次期改選に向け協力と連携で検討

問 職務内容の明確化が必要ではないか。
健康福祉部長 活動の目安や対応方法をまとめたQ&Aを全員に配付し、スタンスを明確にしている。
問 職務の軽減やサポート対策が必要では。
健康福祉部長 毎月の地区会長会で、円滑かつ効果的に活動できるよう意見を聞いている。今後も国や県の動向に注視しながら、負担軽減を図っていく。
未来を創造する学習



フレンドリールームの明るく元気な生徒作品

いる。その他、県総合教育センターの研修会にも参加している。
問 教員の差異による対策は。
教育長 年度当初に全体計画を立て、それを基に学年会等で指導内容や指導方法を検討し、共有化に努めている。
問 特別支援学校のキャリア教育の現状は。

教育長 将来に向けた主体的な意思決定を大切に活動している。職場見学や職場体験活動など、地域とのふれあいを設け、キャリア・パスポートを作成。保護者との共通理解を図りながら進めている。
問 教室で学べない児童生徒のキャリア教育は。

教育長 学校と連携し、不登校児童生徒がどこでどのように学ぶか、その子に適した学びができるよう支援している。
問 職業教育を行う上で、企業との連携は。
教育長 須坂商工会議所、須坂青年会議所の取組は、学校・企業・事業所がつながるきつ



「私たちと政治参加」の学習で、議場見学の中学生

考え方について、併せて納税の義務についても理解する。
問 地方自治学習を拡大してはどうか。
教育長 今年度、東中学校の生徒が議場を見学し、直接議員の説明を聞いた。その場に行き話を聞く体験は、理解を深めるには大切であり、他の学校でも取組を進めるようであれば、教育委員会としても支援していきたい。

問 金融教育はどのように行われているのか。
教育長 小学校では物や金銭の大切さに気付く、計画的な使い方考えること。中学校では市場経済の基本的な

浅野 隆義 議員

子どもたちが希望を持ち、自分らしい道を一歩ずつ切り拓いていける須坂にしたいなあ



民生児童委員



未来を創造する学習

一般質問



早川 航紀 議員

市内最大の観光地、臥竜公園。百々川緑地も自慢の場所なのに情報発信がされていない！



デジタル化による
DX 推進



情報発信体制



臥竜公園、百々川
緑地等の活用

臥竜公園百々川緑地は一帯でPRを

エリア一帯を広く考える

問 市内最大の観光地、なににトイレや駐車場、どんな遊び方ができるかなどの詳細情報がわかるHP（ホームページ）がなく、市民にとっても市外の観光客にとっても欲しい情報が取得できない状況。独立したHPをつくることはできないか。また観光協会の方とも連携して、臥竜公園エリアの利用者目線の情報発信を検討してほしい。

まちづくり推進部長

須坂市動物園のHPのような独立したHPがあると良いと思うが、かなり費用もかかると

いうことで、まずは費用をかけずに情報を追加するところから始め、HPをどのように作っていくかも含めて検討していく。観光協会等との連携についても考えていく。

問 看板やHPなど、今後情報発信の際は対象エリアを拡大して臥竜公園や動物園、百々川緑地、望岳公園やメセナホール、スポーツ施設やアートパークなどをテーマパークのように一緒に記載し、一帯のエリアとして捉えて対応してほしい。

市農 エリア一帯を広く考えるということは設計者の本多静六先生の考え方にもあり、大事なこととしてしっかりと受け止めて対応していく必要があると思う。広いエリアにもなるが、QRコード等を使

って地図情報を示すことや、トイレの位置などはGoogleマップへ載せていくことも大事だと思う。

デジタル化の推進で市民サービス向上を



須坂市のホームページ



臥竜公園のホームページ

問 24年3月末にリニューアル予定の須坂市の新しいHPはこの自治体のホームページを参考に制作しているか。

総務部長

県内では小諸市、県外では兵庫県姫路市、広島県竹原市、茨城県神栖市のホームページを参考に進めている。

問 須坂市のブランドイメージにもなっている農業分野についての

次世代に向けたスマート農業、デジタル化支援の状況は。

産業振興部長

環境配慮スマート農業機械導入事業を創設し、実績としてハウスの温度管理をスマホで確認ができる温度センサーの導入を支援した。現在、剪定枝を処理するチップパー、ブドウの伸びた枝からでるツルの除去用機械の導入相談を受けている。

路線バス運賃の見直しを

市負担金の増加で見直しは難しい

問 現在、運賃体系は私の利用する仙仁線、米子線は須坂駅から南原町までは均一200円の運賃だ。それ以外の地域は区間を超えるたびに加算されているが、仙仁温泉からだと片道500円、往復1000円か、高齢者にとっては大きな負担になると思うが、運賃の見直しで利用拡大を図っているか。

市民環境部長 運賃はサービスを維持するために重要な収入であり、公共交通への市負担額の増加傾向を考慮すると値下げにより利用拡大を図るのは難しいと考えている。

問 京都府の京丹後市では、路線バスの利用減により、最大運賃が700円かかる路線バスに対し、運賃上限を

200円に設定し、1年間実証運転を行い、利用者が1・6倍になったことから、全ての路線を上限200円で

運行している。そのようなことも考えていくべきではないか。

市民環境部長 負担が大きく考えていない。



運賃の値下げを図って利用者増につなげては

問 今後、人口減少・少子高齢化が進み、公共交通の利用者はさらに減少し、交通事業者も経営状況が圧迫、サービスを受けられない住民が増加すると考えられる。道路や上下水道のように行政が社会基盤施設として計画的に整備を進め、利便性の向上を図っては。

市民環境部長 公共交通は通勤や通学、買物客や高齢者など、さまざまな人の移動を支える重要な社会インフラで、市民や行政を含め、地域全体で支えることが重要である。

道徳教育

問 学校で道徳教育をどのように生かし、また、必要性、目標をどのように捉え、学校現

場で教育しているのか。

教育長 子どもたちが個人として成長し、社会的な参加者としての役割を果たすために必要な価値観やスキルの習得が必要であり、道徳性を養う教育をしている。

問 道徳教育からいじめ・不登校の減少は図れないか。

教育長 自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともにより良く生きるための基盤となる道徳性を養うことから、いじめ・不登校の減少は長いに期待できる。



酒井 和裕 議員

道徳教育の充実により少しでもいじめ・不登校が減り、健やかに育つことを願っています



教育行政問題



地域公共交通

一般質問

部活地域移行の人材確保の現状は

広域での連携はこれから



野崎 天馬 議員

学校部活動の意味や意義を改めて考えなければならぬ



市のスポーツイベント



中学生の部活動

問 指導員の人材確保は広域で考えなければならぬと思うが、県や須高地域の連携はどうなっているか。

教育次長 県の支援については、県に確認したところ、現在、全県的な指導者リストを作る予定で進めているとのこと、リストができた際は活用していきたい。現段階では、小布施町や高山村も検討の途中であり、具体的な話はこれからになる。



須坂市部活動地域移行検討協議会

償で動き出しているところもあり、指導員の流出の懸念もある。対策は考えているのか。

教育次長 指導者への適切な謝礼についても県内の状況等を確認しながら、協議し決定していく予定。

問 生徒が指導者を選べる権利や、悩みを打ち明けて解決に向けてアドバイスしてくれる環境が必要ではないか。早急に準備するべきと思うがいかがか。

教育次長 部活動の悩み相談については、教育相談等で担任等が悩みを聞く機会を設けて

5年ぶりのマラソン大会

問 設定していた目標（参加人数、協賛金）は達成できたのか。

社会共創部長 参加人数は、1200人の目標に対し1193人の申し込みがあり、ほぼ目標は達成できたものと考えている。協賛金は、目標額145万円に対し、市内外の企業126社から211万円の協力をいただいた。き目標額を大幅に上回ることができた。

問 準備に体育センターを使っていたが、準備期間は妥当だったか。

社会共創部長 今年は5年ぶりの開催で、職員も経験者がいなく様子がわからなかったため、4週間の準備期間を設けた。来年度以降は今年度の状況から、2週間程度の準備期間で対応していく。

問 今後、国体の準備をしていく中で、業務量の増大により担当職員の負担が増えるように思うが、対策は。

社会共創部長 28年に予定されている国体については、長野県国民スポーツ大会準備室からも事務スケジュールが示され、24年度は市準備室の設置、25年度は市実行委員会の設置など事務量の増加が見込まれるため、人員増も含め事務体制を整えていく。

草刈機による車両損傷事故防止策は 再発防止策を策定し周知徹底した



車両損傷の状況

問 ここ数年、草刈機の石跳ねによる車両損傷事故が多発している。今年はずでに教育現場で3件も発生している。その原因は何か。

副市長 基本的な安全対策が不十分だった事に加え、より丁寧に刈るうと作業をした為に、事故の再発防止策は何か。

副市長 「作業前に小石など異物の確認」「飛散防止ネットの使用」「草刈機の保管場所に注意喚起の掲示」などの事故防止策を作業員を集めて周知徹底した。

問 作業前の異物の確認は広い敷地の草刈では時間が掛かりすぎて現実的ではないが。

副市長 全ての除草作業をこれらの方法でと言うことではない。

問 除草作業は飛散防止ネットを一人が持ち草刈業者との2人体制で行う方法が最善ではないか。

副市長 ベストな方法だとは思いますが、できない場面も多々ある。本年は教育

問 現場での事故が多いが、沿道の除草作業とは条件が違うように思う。事前に車の無い時間帯に行ったり車両の移動等で事故防止は可能では。

副市長 提案いただいた防止策に加えてナイロンコードカッターの限定使用や除草剤の積極的な使用、防草シートの活用といった新たな対策も決めた。

問 学校敷地内での除草対策に除草剤の使用や防草シートの活用を挙げているが、児童・生徒が自然に親しめるよう花を育てる場所にしてはどうか。

副市長 児童・生徒の人数が減少し、従来の花壇ですら管理ができない。また、除草が手作業となり除草作業時間が増加してしまう。

問 除草剤や防草シートの併用をせざるを得ない。自分の母校の空き地が除草剤まみれや防草シートで覆われていたらどう感じるか。

教育長 自然を大切に、する気持ちは同感だが、学校と管理技術員でその点を十分に話し合っで決めてもらいたい。

歩道の改修

問 マウントアップ方式の歩道は歩きにくく、車両の出入も不便だし、車道上に段差プレートが設置されていて危険だ。早期改修を。

まちづくり推進部長 指摘された道路は都市計画道路であり、整備する際はセミフラット方式とする。



マウントアップ方式の歩道



水越 正和 議員

子どもたちの「自然を愛する心」を自然体で学べる教育環境を



石はねによる車両損傷事故が頻発した件



歩道の改修

一般質問



岩田 修二 議員

約束は必ず守りたい。人間が約束を守らなくなると社会生活はできなくなるからだ。菊池寛



立地適正化計画



人事行政



新年度予算編成の基本方針

新年度予算編成方針は

総合計画に沿って通常予算で編成

問 普通なら市長選挙を控えているため骨格予算とし、改めて予算編成をするのが一般的な予算編成方法と認識していたが。

市長 私が市長になった2004年度当初予算でも通常予算として編成しており、それ以降市長選挙後の当初予算においても通常予算で編成をしている。

問 市単独事業の基本方針は。

市長 多様化する市民ニーズに予算を配分するため、優先順位に基づいた費用対効果の高い事業を厳選するなど



望ましい街づくりとは
(市役所展望室から見た中心市街地)

「賢い支出」を一層徹底していくことが重要。**問** ふるさと応援基金の充当事業の方針は。**市長** 脆弱な財政基盤の当市にあって、寄附金は貴重な財源として活用させていただいている。寄附をいただいた皆様の意向に沿った事業に厳選していく。

立地適正化計画

問 計画の目的は。

まちづくり推進部長

「暮らしやまちの活力、魅力の維持と充実を図る」必要があるため、防災の観点を踏まえた

コンパクトなまちづくりと地域公共交通との連携が重要で「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えに基づいたまちづくりを推進する。

問 計画策定にあたりコンサル依存ではなく須坂市が主体性をもって計画策定を進めるべきではないか。

まちづくり推進部長

計画の策定にあたり、庁内策定委員会を設置し、方針や誘導区域、誘導施策などについて議論を重ねるなど市が主体となって策定を進めている。

問 計画実現に向けた財政計画は。

まちづくり推進部長

計画の策定により、新たな財政計画が必要となるものではない。

人事行政

問 職員の定年延長に伴う処遇の基本方針は。**副市長** 管理職を降任した後は、非管理監督職におけるできる限りの上位の職とすることが望ましいとされていることから、職員本人の希望を考慮した上で、基本的に、課長補佐級の配置を想定している。

問 保育士の正規職員化について、現状はクラス担当の保育士の半数近くが非正規という異常な状況が長く続いているが。**副市長** 正規保育士を増員する計画をしている。クラス担任については、現状では、フルタイム会計年度任用職員の配置もしている。

集団補聴システムの導入を 携帯型を検討する



難聴ストレスによる孤独・孤立、うつ病
予防のため補聴器療法を

難聴者支援の拡充で社
会参加の後押しを

問 軽度・中等度難聴者まで補聴器購入補助制度を拡大する考えは、健康福祉部長 18歳以上の軽度・中等度難聴者の補聴器購入助成事業はない。制度化を国

に要望していく。
問 集団補聴システムを市役所や公共施設等に導入する検討を。健康福祉部長 携帯型ヒアリンググループは、会議室で使用できるタイプがあり、希望者への貸出も可能なので導入について検討する。

介護保険料引き下げと
サービス向上を

問 「保険あつて介護なし、国家的詐欺」とまで言われている介護保険制度。サービス利用料2割・3割負担の対象拡大、老健施設等の相部屋有料化、高所得者の保険料引き上げは、国の方針として示されたのか。健康福祉部長 現時点では示されていない。

問 3項目が実施された場合、被保険者・利用者の負担増は。健康福祉部長 負担増となる方が出る。
問 第1期と第8期の基準段階の介護保険料(月額)の対比は。健康福祉部長 第1期が2267円、第8期が4850円。
問 乗率の見直しと段

階ごとの保険料の検討状況は。

健康福祉部長 国の介護保険部会で、高所得者の標準乗率を上げて負担を増やす一方、低所得者の標準乗率を引き下げる方針が了承された。最終的な結論は年末となる見通しで、色々なパターンを検討している。

問 第8期以上の介護保険料の引き下げを。健康福祉部長 基金を有効に活用し、適正な保険料設定にする。
問 事業者が要望している施設整備の検討は。健康福祉部長 介護医療院(1箇所)、認知症高齢者グループホーム(2ユニット)、特定有料老人ホームの3施設を検討している。
問 地域包括ケア病棟の再設置は。

健康福祉部長 信州医療センターからは「視野に入れているが現時点では未定」との回答。

問 訪問型・通所型サービスAの報酬とサービス見直しは。健康福祉部長 報酬の引き下げはせず、利用者が状態に合わせた適切な使い方ができるように、算定方法を月単位から回数単位に変更する。

竹内 勉 議員

能登半島地震、2日たっても避難所に食料が届かない? 須坂市の災害時対策の見直しを



介護保険料引き下げとサービス向上



聴覚障害・難聴者支援の拡充

一般質問



山崎 永一 議員

須坂の魅力を生かし“稼ぐまち”へ。その稼ぎを未来のために投資する“持続可能なまち”へ！



米子大瀑布の今後の活用



重要伝統的建造物群保存地区

米子大瀑布は益を得る観光地に

重要なことなので検討していく

問 今シーズンの営業を終え見えた課題は。

産業振興部長 ①収入源が限られており、シャトルバス運行や遊歩道整備、施設管理等にかかる膨大な費用に到底及ばない②駐車場の容量が50台しかなく、日によって入場待ちの渋滞が発生してしまっ

て代表する観光名所としての価値は高いととらえている。今後のさ

らなる活用のために、駐車場や登山道の整備、口ケの誘致、来訪客の

峰の原高原や市街地への誘導など検討していきたい。

問 シャトルバスが収入を生み出すどころか

大幅な赤字運行となっている。運行計画を今一度見直していただくことや財源としての入山料の導入、第二駐車場の整備を検討してほしい。

産業振興部長 施設の維持や安全管理のためにも収入源の確保は重要と考えている。今回見えた課題を踏まえ検討していきたい。

問 今後、観光地としてさらに活用する考えは。

産業振興部長 須坂市



会派「いいよね須坂」で米子大瀑布の現地視察を行いました

重要伝統的建造物群保存地区について

問 須坂地区の歴史的な町並みが、24年にも重要伝統的建造物群保存地区（以下、重伝建）に選定される見通しとなったが、今後どのように賑わいを創出していくのか。

社会共創部長 国の制度を活用し、歴史的な景観を残しつつも住みやすい環境を整備したり、官民連携での創業支援を行っていく。

問 整備の原資は税金となるので、重伝建対象エリア外に住む市民にもその価値を伝えていく必要があるのでは。

社会共創部長 町並みだより、広報須坂、セミナーなどで広く周知していく。また市内の

各学校に対しても社会見学や遠足のコースに入れていただけないかお願いしていく。

問 重伝建対象エリア内の空き家対策については、今後どういうまちづくりをしていくかのビジョンを重視する必要がある。周辺でうまくいっている事例を見ると、売り手と買い手の間で様々な調整を行う団体との連携も重要と考えるが。

まちづくり推進部長 重伝建エリアもそうでない地区も、専門家が入った民間のまちづくり団体と連携し、今後空き家対策を進めていきたいと考えている。

不登校要因は学校と家庭でギャップ

溝を埋める努力で対応

「新しい学びの形」は、ゆとりと希望の学校に向かうのか

問 不登校要因について、当事者へのNPOの調査では「先生との関係」が1番で、市教委は「子どもの無気力、不安」が5割以上と説明、食い違いは。

教育長 溝を埋める努力のなかで、教職員と保護者が一致して対応することが大事だ。

問 生きづらさを抱える子どもたちの声を「聴く」学校の環境は。

教育長 学校教育では聴くことを最優先にしなければならぬ。

問 「学校スタンダード」に象徴される一律・一斉の競争的教育環境が、子どもたちに過度なストレスを与えていないか。



「審議会」は答申書を市教委に手渡す

教育長 子ども中心に見直しを考える。

問 過労死ラインを超える長時間労働が、「教員不足」に拍車をかけている現実。

教育長 教育条件の改善を進める。「30人以下学級」実現を県や国に

要望している。

問 文科省の全国「学校規模の適正化に関する実態調査」では、3年間で1千校余が450校余に統合され、教職員が2割〜4割も減らされているが。

教育長 統合後も必要

な人員を確保していく。

問 豊丘小学校のプールの存廃はどうなる。

教育長 費用対効果のみでなく、教育的視点にも配慮して対処する。

国民健康保険税の負担軽減で、命と暮らしを守る市政を

は考えていない。

問 コロナ禍や物価高騰で貧困世帯が増えていく。国保税の負担軽減は待ったなしだ。

健康福祉部長 来年度の「納付金」など総合的に判断し、保険税率等について検討する。

問 障がい者の医療費支払い、病院窓口での現物給付方式の導入を。

健康福祉部長 課題の慎重な検討が必要だ。

問 国保の県内「統一」に向けた動きは。

健康福祉部長 市町村間の医療費や所得、保険料の格差などの課題があり、進んでいない。

問 次期「県運営方針」の検討内容は。

健康福祉部長 27年度まで「納付金」の算定は現状のままとするとしている。

問 国保基金残高5億円を活用で、高すぎる国保税の引き下げを。

健康福祉部長 現状で

“ガザ停戦”市議会は、全会一致で意見書を採択。同日、国連では加盟国の8割で停戦決議



国民健康保険税の負担軽減



ゆとりと希望の学校を

令和5年11月号、第176号の「大見出し」に誤りがありましたので訂正いたします。

問 「30人以下学級」と教職員配置を
答 市民の願いを総合教育会議で議論

一般質問



石合 敬 議員

今回は良い答えだね。
本当はこのようなアカ
デミックな話が好きで
す。東博が呼んでいる



市の美術・芸術振
興施策



市所有の美術品の
活用・修復状況

今注目のステンドグラスの公開を

市民に公開を考えたい

問 博物館から取り外
してから、何回市民に
公開したのか。

社会共創部長 過去2
回公開した。保存目的
とは合致せず、大変苦
慮した経過がある。

問 市民が望むのにな
ぜ見られないのか。

社会共創部長 移動展
示の際、転倒での破損
やガラスの劣化の心配
がある。

問 オリジナル作品の
保管用枠は、私が修復
時に展示使用できるよ
うに作った。ガラスは
100年で展示できぬ
ほど劣化しない。そん
な考えで出し渋るのは



みんな見たいですよえ～？

おかしい。プロである
私が作品の状態点検等
協力するので、関心の
あるうちに公開すべき
市長 考えてみたい。

問 須坂高校の100
周年記念に設置された
龍のオブジェ制作者の
大学卒業制作作品が市
内に保管されている。

副市長 私も須坂高校
のオブジェを見たが、
力強く迫力があると感
じた。提案の作品を設
置するかしないかにか
かわらず、一度実物を
見て、本人の意向も聞
いて検討したい。

問 市長も教育長も高
校の除幕式に出席した
と聞くが感想は。また
その時の様子は。
教育長 力強く、外へ
羽ばたいていくような
作品であった。周りの
方々も大変驚いていた。
市長 独創性があると
感じた。制作に当たり
友人ら多くの若者の手
伝いがあったのもすば
らしい。

問 それぞれ適切な管
理が必要だと思うが。
社会共創部長 検討の
結果、温度25℃、湿度
60%としている。
問 福井敬一の作品等
は、カビや傷みもある
のではないか。室内に
温度計やファン等を設
置しているのか。
社会共創部長 そのよ
うな機器の設置はして
いない。極端な蒸し暑
さや結露が起らない
緩やかな温湿度管理を
している。

問 旧富士通倉庫内の
美術品はどのように保
管されているのか。
社会共創部長 エアコ
ンと除湿器で空調管理
をし、博物館の収蔵品
約1万点、古文書約1
万4千点、福井敬一の
油絵560点等がある。

問 そのような管理下
では第一級の美術品を
持つことはできないと
思う。美術品を含む倉
庫内の整理を考えてみ
てはいかがか。
社会共創部長 状況に
応じて考える必要はあ
ると思う。

12月定例会の議決結果

賛否が分かれた案件

議案等名		議員名	議決結果	市民共創会		いいよね須坂				共産	清風会		輝奏会		貴和会		シ					
				宮本泰也	荒井敏	岩田修二	浅野隆義	山崎永一	西脇隆	早川航紀	野崎天馬	竹内勉	久保田克彦	堀内章一	牧重信	荒井一彦	霜田剛	中島義浩	岡田宗之	浅井洋子	水越正和	酒井和裕
決議第1号	市長不信任決議 ※P2 討論		否決	投票表決（無記名投票）により採決を行ったため、賛否は不明 【賛成3、反対10、無効1、退席6】																		

☆会派名の略称：共産→日本共産党 シ→シュプリングン

全会一致による可決案件

番 号	件 名	番 号	件 名
議案第 67 号	市道村山八町線道路改良工事請負契約の締結 金額 2 億 1,597 万 8,400 円 相手方 (有) 田中興業	議案第 77 号	ふれあい健康センター条例の一部改正 マレットゴルフ場、温泉スタンドの廃止等
議案第 68 号	特定公共賃貸住宅及びその他の市営住宅の指定 (1) 特定公共賃貸住宅 旭ヶ丘団地、末広団地 (2) その他の市営住宅 屋部団地、旭ヶ丘団地、西原団地、 墨坂団地 長野県住宅供給公社 期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで	議案第 78 号	一般会計補正予算第5号 14 億 6,348 万 2 千円 (信州ふるさと応援寄附金の返礼品等経費増、支援費サービ ス事業増、私立保育所運営費負担金増等)
議案第 69 号	美術館等文化施設の指定管理者の指定 須坂版画美術館、須坂クラシック美術館、世界の民俗人形 博物館、歴史的建物園、イベント広場 (一財) 須坂市文化振興事業団 期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで	議案第 79 号	国民健康保険特別会計補正予算第2号 3,021 万 5 千円 (前年度の保険給付費等交付金償還金等)
議案第 70 号	文化会館の指定管理者の指定 (一財) 須坂市文化振興事業団 期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで	議案第 80 号	介護保険特別会計補正予算第2号 459 万 1 千円 (会計年度任用職員の経費精査、給付費増額)
議案第 71 号	峰の原高原クロスカントリーコースの指定管理 者の指定 須坂市峰の原高原クロスカントリー場維持管理組合 期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで	議案第 81 号	後期高齢者医療特別会計補正予算第2号 △ 4 万円 (会計年度任用職員の経費精査)
議案第 72 号	蔵のまち観光交流センターの指定管理者の指 定 (一社) 信州須坂観光協会 期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで	議案第 82 号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改 正 市職員等の給与の見直しに伴う改正
議案第 73 号	市道の変更 市道 2 路線の区域等を変更	議案第 83 号	国民健康保険税条例の一部改正 国保被保険者が出産する場合、産前産後期間に係る所得割 額及び被保険者均等割額の減額規定の改正
議案第 74 号	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関 する条例の一部改正 特定個人番号利用事務及び個人情報に係る規定を加える等	議案第 84 号	一般会計補正予算第6号 4,948 万円 (令和5年の人勤等に基づく給与改定に伴う一般職員給与等)
議案第 75 号	特別職の職員等の給与に関する条例の一部改 正 消防団員等の報酬に女性部長及び女性副部長を加える	議案第 85 号	国民健康保険特別会計補正予算第3号 1 万 8 千円 (給与勧告に伴う会計年度任用職員報酬等)
議案第 76 号	公民館条例及び臥竜山公会堂条例の一部改正 市民ギャラリー臥竜公園の利用対象者を拡大する等	議案第 86 号	介護保険特別会計補正予算第3号 16 万 1 千円 (給与勧告に伴う会計年度任用職員報酬等)
		議案第 87 号	後期高齢者医療特別会計補正予算第3号 9 千円 (給与勧告に伴う会計年度任用職員報酬等)
		議案第 88 号	一般会計補正予算第7号 8 億 7,979 万 6 千円 (物価高騰対応重点支援給付金 (住民税非課税世帯1世帯あ たり7万円)、交通事業者等事業継続支援金・貨物自動車運 送事業者等支援金等)
		意見書第 5 号	パレスチナ自治区ガザ地区における紛争の平 和的解決に全力を尽くすことを求める意見書

(件名は一部省略しています)

広域連合議会等報告

長野広域連合議会定例会

11月22日

11月定例会では、補正予算・条例・決算認定等が議決された。

報告事項

・会計検査院による会計実地検査により①門扉②外周フェンス③立札について交付金の対象外となり、概算で988万7千円の返還及び概算で2千万円の起債の繰上償還となる。

・次期一般廃棄物最終処分場候補地の選定は、長野市中条及び飯綱地蔵久保の2カ所の候補地を選定。

一般質問(宮本議員)

・広域連合における新しい課題に対する取組

・エコパーク須坂における大雨等の災害対応

・高齢者施設における虐待等対策と介護職員の待遇改善について質問した。

須高行政事務組合議会定例会

10月24日

10月定例会に提出された議案は、条例案1件、決算議案1件、補正予算案1件、人事案1件の計4件で、すべて原案のとおり可決された。

2022年度決算認定では、歳入2億2595万9082円、歳出2億1691万4036円。電

気料値上げやサマーランドのトイ洋式化工事などにより歳出が2021年度比473万7947円の増額となった。

議会選出監査委員は、長野市議会議員の加藤英夫氏が選出された。

高山村外一市一町財産組合議会

10月16日

10月議会が開催され、次の議案について全て原案どおり議決された。

①同意第1号 新たに識見を有する監査委員として澁谷善太郎氏が選任された。

②同意第2号 議員のうちから選任する監査委員として、堀内章一議員(須坂市議会)が選任された。

③認定第1号 令和4年度会計決算について、歳入総額182万7484円、歳出総額160万4121円、実質収支額22万3363円となり認定された。

公有財産の現在高は令和3年度末から増減はなし。

管理経営基金については令和4年度30万円増加し、決算年度末現在高で2537万6千円となっている。

インター周辺等開発特別委員会

12月8日



開発計画図
(1月現在)



事業の進捗状況について、副市長から次の計画図に基づいて説明があった。

行政視察報告

議会運営委員会

10月12日 千葉県白井市

「女性の議会参画について」

白井市議会は、春の選挙で、18人の定員に対し、10人の女性が当選。割合は55・6%で、全国の議会でもトップ。ニュータウンの性質上、市民活動が活発で、元々問題意識を持った女性が多いという。

議員と理事者が対面式の議場で、理事者への反問権付与、赤ちゃんも傍聴可能、議長選立候補制、ホームページリニューアル、ご意見箱設置など議会への感心をさらに高めようとして取り組んでいる。



10月13日 埼玉県三芳町

「議会への住民参画について」

三芳町議会は、15人中8人が女性で、町村議会女性議員比率が全国1位。女性議員が増えたことで、今まではなかった女性の視点、切り口での一般質問が行われるようになった。

議員の成り手不足の問題から、政策検討会議、サポーター会議、ふれあい座談会（Ⅱ議会報告会）、住民との井戸端会議（Ⅱ住民と議員の対話集会）などを積極的に開催し、議会だよりモニターを経験して議員になった方もいるとのこと。



広報特別委員会

10月26日 新潟県聖籠町

「議会だよりについて」

聖籠町議会は、令和4年度町村議会広報全国コンクールにおいて奨励賞（言語・文章部門）を受賞するなど高い評価を受けている。紙面のスタイルは表紙を含めてこだわらず、個性ある議会だよりとなっている。文章、見出しは短く、わかりやすくまとめる工夫をしている。また、議会定例会閉会後概ね30日で迅速に発行している。



奨励賞を受賞した第138号の表紙

聖籠町議会は、令和4年度町村議会広報全国コンクールにおいて奨励賞（言語・文章部門）を受賞するなど高い評価を受けている。紙面のスタイルは表紙を含めてこだわらず、個性ある議会だよりとなっている。文章、見出しは短く、わかりやすくまとめる工夫をしている。また、議会定例会閉会後概ね30日で迅速に発行している。

10月27日 新潟県新発田市

「市議会の広報広聴の取組について」

新発田市議会では、平成31年4月から3年間かけて紙面の大幅な見直しを行った。

リニューアル後は「新発田市の若いチカラ」と題して市内の大学や高校等の特集記事を掲載し、それに関連した表紙写真に変更した。またWebでの議会報告会を取り入れるなど、より親しまれる議会を目指し、広報広聴委員が意欲的に広報広聴活動に携わっている様子がうかがえた。



三浦市姉妹都市交流

三浦市議会との研修交流会

11月14日・15日



研修会の様子



botaを視察

姉妹都市、神奈川県三浦市議会との研修交流会を当市で開催した。

これは、姉妹都市である両市を理解し、交流を深めることを目的におよそ2年ごとに実施しており、今回はコロナ禍をはさんで6年振りに三浦市から15名の議員等が来訪した。

交流初日は両市の課題と議会の取組についての意見交換を行い、2日目は、新学校給食センター、子育て支援センター(bota)、千曲川堤防、須坂長野東インターなど市内各所を視察いただいた。

今年は姉妹都市提携50周年となり、今後も親交を深めていきたい。

議員研修会

森林・林業・林産 業活性化促進議員 連盟研修会

11月10日

野沢温泉村ツリーキャンプ場



事業者のノザワグリーンフィールドは、地球に優しい循環型のフィールド創りを目指して活動している。間伐材を活用したツリーハウスは、環境への配慮と後世に跡を残すことがないよう釘などを使わずに建てられており、一日一組限定でキャンプ場として、利用されている。利用者は、自然に囲まれた中で、家族や仲間と時間を忘れて過ごすことができる。

須坂市も保育園整備に地元産材を使用する等取り組んでいるが、市民や各種団体と一緒に活用し、利便性、山村振興、地球温暖化防止を進めたいと感じた。

北信3市議会 議員研修会

11月10日

飯山市役所



北信3市の議員約50名が参加し、千曲川河川事務所副所長 寺田勝一氏を講師に「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」上下流バランスを考慮した「河川整備」と題して講演をいただいた。

令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した信濃川水系において、国・県・市町村が連携し、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めており、①河川における対策、②流域

における対策、③ソフト施策の三本柱をもとに、千曲川本川における治水防止を旨とする説明があった。



教えて！議会のこと

番外編

東中学校 3 年生の皆さん（2 クラス 55 人）が社会科公民の授業の一環で議場見学に訪れました。授業の中で、これからも住み続けたいと思える須坂市を目指して、政策（取組み）や提案を考えてくれましたので紹介します。（全文は、下の二次元コードからご覧いただけます。）



温泉施設とタッグを組んだまちおこし

- 若い人がテレワークや勉強ができる場所、カフェづくり ●外国人に浴衣の貸し出し、言葉やお土産 ●サウナの充実 ●健康イベント、アニメコラボ ●SNS での PR や看板改装

蔵のまちが有名になり観光客が増える

- インスタや CM で宣伝 ●須坂にしかない蔵～めん、蔵の宿泊施設、蔵のカフェで住民や観光客が増える

bota を活用し教育でつながるまち 若い農業者が増え農業が盛んなまち

- café bota に子どもメニュー（アレルギー対応、野菜嫌い克服） ●お迎えサービス ●小中学校で農業体験

生活しやすいまちづくり

- ひんのべ、果物など特産品を使ったフェスで全国から観光客を増やして人口増 ●街灯を増やし、バスの本数を 1 時間に 2 本程度にして生活しやすいまちに

森の自然を生かした観光スポット

- 露天ぶるやアスレチック施設、ワカサギ釣りのイベント ●宿泊施設で須坂特産品を使った食事の提供、果物が入った牛乳パンの販売などサービスを広げる

安全に移動、暮らしができるまち

- 電線を埋設し太陽光発電 LED 街灯を設置して安全に ●デザインも統一し、LED で環境にやさしい街灯を

サイクリングも推せるまちにしたい

- 須坂にしかない自然や街並みを堪能できるサイクリングコース ●ロードレースを開催して参加者に須坂の名産品を

湯っ蔵んどをメインに人でにぎわうまち

- 外国語表記 ●蔵っぽい外観でアピール ●食べ物をふるさと納税返礼品に ●フォトスポットづくり ●看板を奇麗に

誰もが移動に困らない市にしたい

- バスの本数を増やす 自転車持ち込みや楽しいキャラクターバス、イベントコラボで引換券、日常生活で利用しやすく

押し出せ！蔵の街並みプロジェクト

- 蔵を利用した高齢者の交流場所 ●蔵の外装のお店 ●蔵の町のマスコットキャラクター 蔵の魅力を市民にも市外の人にも知ってもらい、観光客、企業、人口増

蔵と豊かな自然や景色、果樹栽培を活かして 観光客を呼び込む

- 蔵・バックスのような印象的でおしゃれな建物やお店 ●情報発信や看板設置 ●空き地や畑も観光農園に

オフィスまでもが観光地のようなまちづくり

- 温泉の隣で自然がたくさんあり、四季を感じられる場所や、使われていない蔵をリフォームしてオフィスに ●果物狩りを通じて商品開発、環境破壊の防止も

古さが光るまちづくり

- レトロ商店街 農産物や駄菓子屋、映えスポット、市民憩いの場 ●インター開発で新しいまちづくりと、古いまちをいかした 2 つの顔で市をアピール



地方自治と私たち

～こんな須坂市をみんなで作るしない？～

市民、企業、行政
みんなにメリットがあって、
須坂市が元気になるように
考えられているね。
具体的な提案も多くて、
実現するといいな。





録画中継

■■■ 令和5年12月定例会本会議をインターネットで録画配信中 ご覧ください ▶▶▶▶▶

20歳のつどい

参加者の声

20歳になったの思いは？

社会人として自立していかなければ
ならない気持ちが強くなりました。
できることはたくさんあります。
若い世代が須坂市を盛り上げていけ
るように頑張ります。



藤沢勝理さん（本郷町）

大人としての自覚ができました。
現在、看護学校で勉強しています。
患者さんの気持ちに寄り添った
看護師を目指しています。



岩松ひなたさん（南小河原町）

令和6年 3月定例会 会期日程（予定）

月日・曜日	開議時刻	摘 要
2月20日（火）	10:00	開会
2月27日（火）～ 3月1日（金）	9:30	代表質問・一般質問
3月4日（月）～ 3月11日（月） （土・日は休会）	9:00	分科会・常任委員会審査
13日（水）	14:00	予算決算特別委員会
15日（金）	14:00	閉会

一般質問の通告要旨は2月22日以降、地域公民館等に配置します。

なお、上記日程は都合により変更する場合があります。

※託児・手話サービスがあります。（事前に議会事務局まで連絡願います）

スマホなどで市議会報
「こんにちは須坂市議会です」をご覧くださいませ

App StoreまたはGoogle Playからアプリをダウンロード

マチイロのダウンロードページはこちらから



須坂市議会公式 SNS

facebook・X

議会の予定や結果などを
お知らせしています。



Facebook



X (旧 Twitter)

「こんにちは須坂市議会です」への
ご意見・ご感想は下記へ

須坂市議会事務局

電話：026-248-9014

FAX：026-248-3365

E-mail：s-gikaijimukyoku@city.suzaka.nagano.jp



須坂市議会HP

【お知らせ】

市ホームページのリニューアルに伴い、2024
年3月下旬以降、本誌に掲載されているアドレ
スおよび二次元コードは使用できなくなりま
す。ご理解をお願いします。

編集後記

このたび1月1日
に発生した令和6年
能登半島地震の被災
者の皆様へ心よりお
見舞い申し上げます。
昨年12月、世界中で分
断と対立が一層進み、
ロシアやイスラエル
の戦争も停戦の見込
みがなく、状況です。
戦争によりエネルギー
や穀物の流通に支
障をきたし、その影
響が日本経済を直撃
し、光熱水費や原材
料費が高騰し続け、
日本国民の家計を苦
しくしました。
世界情勢や日本経
済の好転は見込めな
い中で、議会でも経
済や防災、インフラ
周辺の工事進捗関係
の議題が増えると思
います。「こんにちは
須坂市議会です」で
市民の皆さんにわか
りやすくお伝えした
いです。

（荒井）

市議会広報特別委員会
委員長 竹内 勉
副委員長 野崎 天馬
委員 西脇 隆
荒井 一彦
宮本 泰也
岡田 正和
水越 正和